

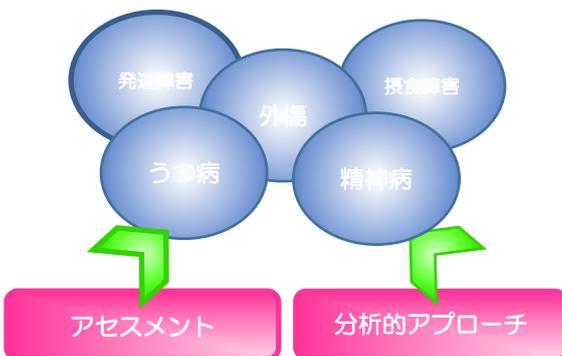
2019年度 精神分析研究会・神戸

ご挨拶

分析者 Bion は、「健康な心的成長は、生体が食物に依存するように真実に依存する」と述べました。臨床現場の困難な問いかけに対して、分析者が内的作業を通して真実を求めてきたことの集積は、精神分析的アプローチに新しい成長をもたらし続けています。精神分析研究会・神戸は、日本精神分析学会の認定を受けた、関西で最も長い歴史を持つ精神分析セミナーです。初めて精神分析的アプローチを学ぶ方から高い専門性を身につけたい方まで、それぞれのニーズにかなうプログラムを準備しています。生き生きとした臨床的、学問的交流の場には是非、ご参加下さい。

代表 小林 俊三

2019年度の年間テーマは・・・



昨年は、「精神分析における治療作用」をテーマに、アセスメントの重要性と治療作用の本質について学んできました。今年は、昨年の理解をより臨床実践に生かせるように、「**病理・疾患別アセスメントと分析的アプローチ**」をテーマに設定しました。外傷、ヒステリー、離人症、摂食障害、パーソナリティ障害、うつ病、精神病、発達障害等について、その病理の基礎的アセスメントをまずは押さえます。次に、その病理に特徴的な転移、それに呼応する逆転移の展開を学びます。皆様が、1年間受講されることによって、ご自身のケースを思い浮かべながら、より臨床的な視座を獲得されることを願っています。

精神分析研究会・神戸の2019年度のプログラムは・・・

● 精神分析セミナー

症例検討と系統講義のセミナー。さまざまな学派の講師をお招きし、幅広く精神分析について学びます。

料金 60,000円（臨床系大学院生および修了後1年目の方は30,000円）

開催日時 日曜日（月1回）12:15～17:00

会場 兵庫県学校厚生会館（各線元町駅山側すぐ）

会場は変更になる
可能性があります

臨床全般への
視野をひろげる

さまざまな学派の
考えに触れる

● 臨床講読会（講師：小林 俊三）

対象関係論の重要な論文をグループで検討し、参加者が文献理解に必要な力を身につけることを目指します。

料金 20,000円（精神分析セミナーにご参加の方は12,000円）

開催日時 第2木曜日（月1回）19:30～21:30

会場 小林メンタルクリニック（各線三ノ宮駅、元町駅より徒歩5分）

新しい論文・
重要論文を読む

論文事例について
ディスカッション

● グループスーパービジョン（講師：小林 俊三）

小グループの参加者が毎回順番にケースを発表し、参加者全員でディスカッションしていきます。

料金 20,000円（精神分析セミナーにご参加の方は12,000円）

開催日時 第4土曜日（月1回）18:30～21:00

会場 小林メンタルクリニック（各線三ノ宮駅、元町駅より徒歩5分）

ケースの読み方や
介入技法を学ぶ

事例のプロセスを
たどる

① 2019年4月14日	神経症総論—フロイトの技法論からの展開	岡田 暁宜 先生
<p>伝統精神医学で内因性疾患とされる神経症は、Freud, Sによって発展しました。精神分析において神経症という言葉は、精神力動、病態水準、疾病概念、パーソナリティ構造などの意味で用いられてきました。精神分析における神経症概念を包括的に紹介します。</p> <p>参考図書：現代精神分析基礎講座 第5巻 金剛出版 編集代表 古賀靖彦</p>		
② 2019年5月12日	ヒステリー：三角空間化の失敗	小林 俊三 先生
<p>ヒステリーは不安障害や抑うつ状態等の多くの精神疾患の中に巧妙に姿を隠して、精神分析的な視点を持たなければ見出すことができません。その特徴的な病理と治療的展開の方法を皆さんとともに学びたいと思います。</p> <p>参考図書：「性，死，超自我 精神分析における経験」（ロナルド・ブリトン著）誠信書房</p>		
③ 2019年6月16日	外傷（トラウマ）—現代関係論の観点から	吾妻 壮 先生
<p>関係論は、内在的な本能以上に、関係性の体験的次元を重視する考え方です。精神生活における体験的次元の意義は、外傷論においてとくに際立っています。本講義では、現代関係論の観点から外傷論を見直してみます。</p>		
④ 2019年7月14日	成人の発達障害—間主観性／相互主体性ゲームの観点から	平井 正三 先生
<p>私たちは臨床でADHDやASDなど何らかの形で発達障害を持つ成人に出会うことが多くなっています。こうしたクライアントとの間では通常の精神分析的概念に加えて、間主観性／相互主体性ゲームという観点が役に立ちます。本講義ではその点についてお話しします。</p> <p>参考図書：福本修・平井正三編 精神分析から見た成人の自閉スペクトラム 誠信書房</p>		
⑤ 2019年9月22日	パーソナリティ障害—現代クライン派の視点から オーブンセミナー	仙道 由香 先生
<p>特にパーソナリティ障害をもつ方々のアセスメントではリスク査定 viewpoint が不可欠で、精神分析的理解を基盤に治療チーム全体の視座から適切な治療計画を提案し合意に至るその過程が既に重要な仕事です。本論では事例等も交えつつその実際について理解を深めることを目指します。</p>		
⑥ 2019年11月10日	対象喪失とうつ病—「喪とメランコリー」再読	福本 修 先生
<p>「喪とメランコリー」は、フロイトが性欲動（リビドー）の神経症的防衛から、対象関係論的機制と構造論に関心を向けていく時期の著作であり、そこには現代の精神分析的理解の基本骨格が確認されます。</p>		
⑦ 2019年12月8日	離人症—体験主体の成立を巡って	飛谷 渉 先生
<p>近年、離人症体験を抱える患者が増えているようです。本講では、離人症の病理と臨床について概観し、現代社会におけるエディプス状況の変容、それに伴う超自我構造の変化と離人症の増加の関連性について考えます。</p>		
⑧ 2020年1月19日	グループ心性と精神病 ビオンの仕事を中心に	浅田 護 先生
<p>ビオンの精神病論の基盤にそれ以前の仕事つまりグループ経験に由来する革命的な思考が確固として存在します。こうしたビオンのグループ経験と思考の航跡を辿りつつ、精神病と個人の心の最深部にある内的集団心性との関連について講義する予定です。</p>		
⑨ 2020年2月9日	摂食障害—パーソナリティ構造と倒錯の観点から オーブンセミナー	松木 邦裕 先生
<p>摂食障害は今日広くみられる精神疾患ですが、専門的な知識と治療を必要とします。摂食障害の本質は逸脱したやせ希求であり、その背後に自己の壊滅の恐怖があります。今回の講義では、倒錯性を含めた摂食障害に特異なパーソナリティ構造体に言及します。</p>		
⑩ 2020年3月15日	解離—ドンネル・B・スターンの仕事を中心に	横井 公一 先生
<p>解離という現象は対人関係学派の流れをくむ関係精神分析によって精神分析的アプローチがきり開かれました。その一人であるドンネル・B・スターンの仕事について概説します。</p> <p>参考図書：一丸藤太郎・小松貴弘訳 精神分析における未構成の経験—解離から想像力へ 誠信書房 一丸藤太郎監訳・小松貴弘訳 精神分析における解離とエナクトメント 創元社</p>		

精神分析セミナーの概要と講師の先生がた



内容：症例検討（12:15～14:15）・系統講義（14:30～17:00）の2部構成!!

対象：医師・臨床心理士・公認心理師・日本精神分析学会会員・臨床心理系大学院生（定員 80名）

Point! 受講は通年で、各回ごとのご参加はできません。「参加認定証」は規程に従い7割以上の出席者に発行いたします（臨床心理士資格認定協会4ポイント）。

岡田 暁宜 先生	精神科医 名古屋工業大学
小林 俊三 先生	精神科医 小林メンタルクリニック
吾妻 壯 先生	精神科医・臨床心理士 神戸女学院大学
平井 正三 先生	臨床心理士 御池心理療法センター
仙道 由香 先生	臨床心理士 新大阪心理療法オフィス
福本 修 先生	精神科医 代官山心理・分析オフィス/長谷川病院/きしろメンタルクリニック
飛谷 渉 先生	精神科医 大阪教育大学保健センター
浅田 護 先生	精神科医 浅田病院
松木 邦裕 先生	精神科医 精神分析オフィス
横井 公一 先生	精神科医・臨床心理士 浜寺病院

臨床講読会	① 2019年4月11日	<p>テキスト</p> <p>○ 「自閉症スペクトラムの臨床」ケイト・バロウズ編・岩崎学術出版社（内容）近年、自閉症スペクトラムとしてその概念が拡大されつつあるなか、子どもの臨床から派生した概念を成人に拡大して理解を深める。</p> <p>対象</p> <p>○ 精神科医・臨床心理士・公認心理師・大学院生、約12名。原則毎回テキストを読んで参加でき、年に1回、レジュメ作成・発表を担当できる方。選考する場合があります。なお、「精神分析研究会・神戸」入会者および当講読会の継続参加者を優先いたします。</p> <p>講師 ○ 小林俊三 先生（小林メンタルクリニック）</p>
	② 2019年5月9日	
	③ 2019年6月13日	
	④ 2019年7月11日	
	⑤ 2019年8月8日	
	⑥ 2019年9月12日	
	⑦ 2019年10月10日	
	⑧ 2019年11月14日	
	⑨ 2019年12月12日	
	⑩ 2020年1月9日	
	⑪ 2020年2月13日	
	⑫ 2020年3月12日	

グループスーパービション	① 2019年4月27日	<p>対象</p> <p>○ 週1回50分のケースを持っている方で、年に1～3回発表できる方</p> <p>進め方</p> <p>○ 5～10名の参加者が毎月順番にケースを発表し、グループ全員でディスカッションしていきます。他の人のケースの展開を考え、コメントすることによって、分析的思考が身についていきます</p> <p>講師 ○ 小林俊三 先生（小林メンタルクリニック）</p>
	② 2019年5月25日	
	③ 2019年6月22日	
	④ 2019年7月27日	
	⑤ 2019年8月24日	
	⑥ 2019年9月28日	
	⑦ 2019年10月26日	
	⑧ 2019年11月30日	
	⑨ 2019年12月28日	
	⑩ 2020年1月25日	
	⑪ 2020年2月22日	
	⑫ 2020年3月28日	

申込方法

- ① ホームページの申し込みフォームから、3月31日(日)までにお申し込みください。メールの場合は、メールアドレス：bunseki-kobe@yacht.ocn.ne.jp までご送信ください。
- ② 4月7日(日)までに参加受付の連絡をメールでお送りします。尚、入会資格を満たさない方には、参加不承認の連絡をいたします。
- ③ 参加受付の返信を受け取られた方は、下記振込先に、該当の参加費をお振り込みください。
納入期限：4月13日(土)

振込先

三井住友銀行（神戸営業部・店番号 500）・普通口座・9230828
精神分析研究会・神戸 代表者 小林俊三

参加費

		精神分析 セミナー	臨床講読会	グループSV
精神分析セミナーに 参加される方	一般	¥ 60,000	¥ 12,000	¥ 12,000
	大学院生*	¥ 30,000	¥ 12,000	¥ 12,000
セミナーに不参加の方	一般/ 大学院生	—	¥ 20,000	¥ 20,000

*臨床心理系大学院生および臨床心理系大学院修了後1年目の方

研修ポイントについて

精神分析セミナーの「参加認定証」は認定基準に従い、**7割以上の出席者に発行いたします（臨床心理士資格認定協会4ポイント）。**

スーパーヴァイザーの紹介

精神分析的臨床実践には、**個人SVは欠かせません。**当研究会は、**日本精神分析学会の認定を受けています。**ご希望の方はお申し出ください。

症例募集について

事務局までお問い合わせください。**症例応募用紙を送付いたします。**発表初心者枠も設けていますので奮ってご発表ください。

学会認定について

当研究会は以下の学会・認定協会の認定を受けています。
日本精神神経学会
日本精神分析学会
日本臨床心理士資格認定協会

お問合せ先

メールアドレス
bunseki-kobe@yacht.ocn.ne.jp
HP
<https://bunseki-kobe.com>
(さらに詳しい案内が載っています)

主催・運営委員

小林俊三（代表） 櫻井興平
辻河昌登（留学中） 飛谷渉
馬場天信 星野修一
松本よし子 守田敦子
衣笠隆幸（運営顧問）